

平成29年度 八街市地域公共交通協議会 (千葉県八街市) (地域公共交通調査事業(計画推進事業))

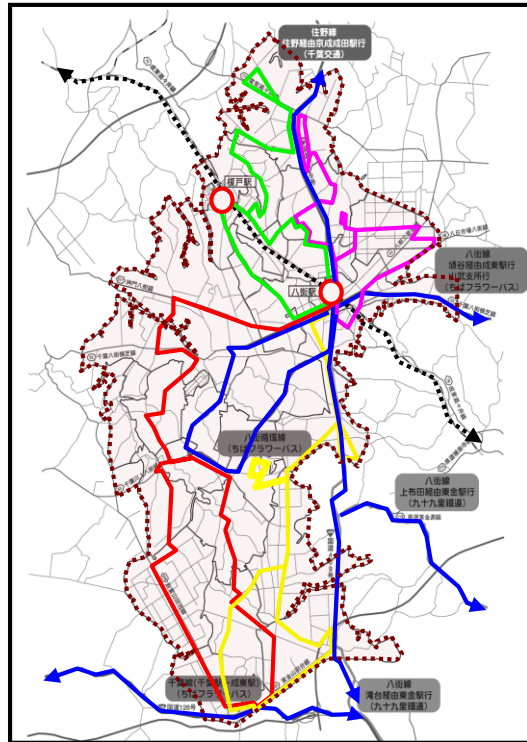
公共交通の現状

八街市における公共交通には、八街駅と榎戸駅を結ぶJR総武本線及び3事業者による民間路線バス4路線がJR八街駅を発着している。

また、市内にはタクシー事業者2社が営業所を構えているほか、本年10月より八街市地域公共交通網形成計画及び八街市地域公共交通再編実施計画に基づき、八街市内循環バス(愛称:ふれあいバス)の路線再編を実施し、新たに4路線で運行を開始した。

路線再編に伴い、利用者が新たな路線及びダイヤにスムーズに移行できるよう効果的な周知方法が求められている。

八街市の概要



八街市の公共交通網

面積	74.94 km ²
人口 (H29.4.1時点)	71,691人
15歳未満	7,483人
65歳以上	19,371人
高齢化率	27.02%
世帯数	31,133世帯

八街市地域公共交通協議会の開催状況:

3回開催(平成29年8月、平成30年1月、3月(予定))

計画推進事業における取組内容(Plan)

- ① 公共交通マップの作成
市内で運行しているバス路線を全て集約した公共交通マップを作成し、公共交通の利用促進を図る。
- ② 公共交通マップの配布
市内の大部分を網羅できる新聞折込により市内各戸配布をするほか、公共施設や商業店舗、病院などで配布する。

計画推進事業の実施状況(Do)

公共交通マップ(A4、8頁)を30,000部作成し、20,250部を新聞折込で各戸配布した。残りの9,750部は公共施設や商業店舗、病院で配布したほか、新聞を取っていない希望者には個別に郵送配布を実施した。



(公共交通マップ)

事業実施の評価(Check)

事業が計画に位置づけられたように適切に実施された。

今後の課題(Action)

公共交通マップの作成・配布により、新たな路線及びダイヤについて、効果的な周知が図れ、電話などによる問い合わせは当初の予想を下回ったが、一方で以前のマップと表示方法を変更したことにより、見方が分からないという意見もあった。こういった利用者には口頭説明などにより、引き続き丁寧な対応に取り組むほか、バスの乗り方教室の開催などにより公共交通への理解を深めていく。